

【日本博を契機とした観光コンテンツの拡充(国際観光旅客税財源)】

現状把握

日本の文化芸術の魅力を発信することを目的にオリパラの翌年度を本番年と位置付け、日本博を実施。現状、新型コロナの影響等により、訪日外国人旅行者数の令和3年度の目標値の達成度は6.4%となっている。



課題設定

日本博については、令和4年5月12日の第3回「日本博総合推進会議」において、2025年大阪・関西万博まで継続する方針が決まったところ。本事業については、国際観光旅客税の趣旨を踏まえ、訪日外国人旅行者数の増加に繋がる事業内容に見直すとともに、一過性のイベント開催等ではなく、レガシーとして残る仕組みに見直すことが必要である。

インプット	アクティビティ	アウトプット	アウトカム		インパクト
予算： 2,600 百万円	①主催・共催型プロジェクト(委託) ②地域ゆかりの文化資産を活用した展覧会支援(補助金) ③国際的文化フェスティバル展開推進事業(補助金)	【採択事業件数】 ①44件(委託) ②25件(補助金) ③2件(補助金)	【短期】 開催された文化プログラムを訪れた訪日外国人旅行者数が目標値(※)の80%になること (※)各採択事業案件毎に有識者からなる「審査・評価委員会」の確認の上で設定された数値(例年3月頃)	【中・長期】 訪日外国人旅行者の満足度向上	訪日外国人旅行者数の増加